

木材ニュースレター

(財)日本木材総合情報センター
TEL03-3816-5595 FAX03-3816-5062

木材製品の荷動き・価格先行き動向調査(23年2月分)

1. 調査実施期間 平成23年 1月20日 ~2月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の流通企業(問屋、仲買・小売商)に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。

2月分の回答企業数は42社、回収率は93.3%である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight. D. I. (ウェイト・ディフュージョン・インデックス) = { (「増加」の評価を行った回答の割合) × 2 + (「やや増加」の評価を行った回答の割合) - (「減少」の評価を行った回答の割合) × 2 - (「やや減少」の評価を行った回答の割合) } ÷ 2

したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向

表-1 荷動き Weight. D. I.

		23/2月	3月	4月
仕入動向	国産材	△ 14.7	△ 7.4	7.4
	外材	△ 22.5	△ 6.3	8.8
販売動向	国産材	△ 7.6	△ 6.1	6.1
	外材	△ 16.3	2.5	5.0
在庫動向	国産材	△ 20.3	△ 14.1	△ 4.7
	外材	△ 18.8	△ 21.3	△ 8.8

仕入は、国産材、外材とも春需期を迎え、先行き一気のプラスへと回復。

販売も、同様に国産材、外材とも先行きプラスと積極的な荷動きの様相。

在庫は国産材、外材とも小さなマイナスへと適正化している。

(2) 価格動向

表-2 価格 Weight. D. I.

品目	23/2月	3月	4月
スギ正角(グリーン)	23.9	13.0	4.3
スギ正角(KD)	31.3	18.8	6.3
ヒノキ正角	22.0	6.0	2.0
ヒノキ土台角	20.0	8.0	0.0
米ツガ正角(現地挽)	2.1	2.1	0.0
米ツガ防腐土台角	4.3	0.0	0.0
米ツガ割物(現地挽)	2.1	2.1	△ 2.1
米マツ平角	2.1	2.1	2.2
北洋アカマツタルキ(現地挽)	28.0	18.0	6.3
ホワイトウッド集成管柱	△ 4.3	6.5	4.5
レッドウッド集成平角	2.5	5.0	0.0
型枠合板(国産)	30.4	28.3	18.2
型枠合板(輸入)	43.5	37.0	20.5
針葉樹合板	35.7	38.1	20.0

スギ正角(グリーン、KD)、ヒノキ正角、土台とも大きなプラスを一気に縮めたが、変わらず強い。

米ツガは各品目ゼロ、小さいマイナスと安定。

米マツ平角も小さいプラスと堅調で強含み。

北洋アカマツタルキ品薄状況等からも好調である。

WW集成管柱、RW集成平角は小さなプラス、ゼロと安定しているが上昇気配有り。

合板(針葉樹を含む)は大きなプラス横ばいで品不足からも一段の強さ。

1. 荷動き			
仕入 動向	米マツ一般材丸太では、米材輸出価格が前月に続き若干上昇の様子で、中国向けも堅調なことから下級材も上昇。カナダ材も高級材太物丸太の現地在庫が大幅に減少。中国、日本の合板向け出荷も好調で強含んでいる。(東京:米材問屋) ツガKD・角・割物ともに、プレカットルートより引合いが増えている。(東京:米材問屋) 米・カナダ材は入荷が順調でなく、サイズによって欠品が出始めた。(東京:米材問屋) 構造材はあまり変動していない。(東京:米材問屋) スギ入荷少なく、納期遅れ。(東京:国産材問屋) アカマツB材の仕入れ困難。スギKD材も相変わらず少ない。(東京:外材集成材問屋) 産地は旧正月で生産量減少。通貨高や原木伐採量の減少から製品価格は相変わらず強い。(東京:南洋・中国材問屋) 南洋材・中国材共に出材が悪く、入荷は少ない。(東京:南洋材問屋) ヒノキ小角も少ない。(東京:国産材問屋) 1月のセール販売量は予定よりやや増。価格は特に外材が厳しい。国産材のスギ・ヒノキ共品薄が目立つ。(東海:外材問屋) 国産材、外材ともに仕入れは控えめ。(東京:仲買小売) 手頃な単価の良材品がない。(東京:仲買小売) 価格の逆転で、柱・スギKD→WW RW集成材、桁・スギKD→ベイツガKDへの切り替えがある。(東京:仲買小売) 当社1月2月の仕入れは、国産材、外材やや増加。販売も同じくやや増加。(東京:仲買小売) アカマツ値上げのため、前の単価で仕入れ増。(大阪:仲買小売) 品薄気味。(東京:仲買小売)		
	販売 動向	国内京浜マーケットでは、国産材スギ不足からベイマツへ切り替える動きがあるものの、一部大手メーカーに限られているため、小手メーカーは益々厳しい状況に置かれている。問屋も手持在庫が増加しており、弱含みが続いている。(東京:米材問屋) 入れれば売れるが、いかにせん入ってこないため困惑している。しかし客はあまり欲しがっていない。(東京:米材問屋) 細かい仕事が多く手間がかかる割には利益に結びつかない。顧客により明暗がハッキリしている気がする。(東京:南洋・中国材問屋) 現地工場の丸太不足のため材が無く、注文に応じきれない。(東京:南洋材問屋) 見積りや引合はあるが、在庫が少なく売るものがない。(東京:南洋材問屋) 町場低迷。プレカット上昇。(東京:国産材問屋) 例年2月は一番落ち込む。1月は予想を上回る売上が上がる。(東京:外材集成材問屋) スギ造作材の注文が増えている。(東京:国産材問屋) 工事の遅れからか全般に荷動き悪い。(東京:国産材問屋) 荷動きの変化はあまり無く、大きな販売動向無く推移。(東京:仲買小売) 仕事は止まった、先が見えない。(東京:仲買小売) 工務店・大工への販売は無くなりました。リフォーム工事は順調に受注。(東京:仲買小売) 年明け後予想に反して良くない。小さなリフォーム工事も無くなってしまった。(東京:仲買小売) 分譲関係を手がけている店か否かで両極端の動きの気配。相変わらずグラスウール不足で商い低迷か?(大阪:仲買小売)	
		在庫 動向	京浜港へは、1月も米材丸太を中心に本船入荷があり、問屋の手持ち在庫は増えている。(東京:米材問屋) 漸減傾向に変わりなし。(東京:米材問屋) 当分は在庫補充のメド無し。(東京:南洋材問屋) 1月には若干まとまった入荷も見られたが、荷余り感がない。(東京:南洋・中国材問屋) 入荷が減少しており在庫が殆ど無い。(東京:南洋材問屋) 2~3月は減らしたい。(東京:外材集成材問屋) 在庫を増したいが思うように入荷せず。(東京:国産材問屋) 在庫積み増し難しい。(東京:国産材問屋) 需要も少ないが供給減のため在庫減少。(東京:国産材問屋) 現状維持。(東京:仲買小売) 在庫比率は下がる傾向。(東京:仲買小売) 外材、国産材ともに横ばい推移。(東京:仲買小売) 例年1月2月は荷動きが悪すぎる。(東海:仲買小売)

2. 価格動向	
スギ正角	注文するが品物来ず。(東京:問屋) スギ柱の動きは良い。価格も上昇。(東京:問屋) 全般に強含み。受注残多い。納期1~2ヶ月。(東京:問屋) 年明け荷動き悪く、スギも騰勢一服。(東京:問屋) KD材は品薄状態だが、当地区の使用はあまりないと思う。(東海:問屋) プレカットは価格の上昇が顕著。小売でも値上げの傾向が見えてきた。(東京:仲買) 今月もスギ全般に上昇。(東京:仲買) 内地材全般に一斉値上げ。m3柱2,000~3,000円。(大阪:仲買)
ヒノキ正角 土台角	丸太上昇。コストアップ。(東京:問屋) 品薄。価格強い。(東海:問屋)
米ツガ	国産材出材減の影響か、ツガ・マツ・WW、全般に引合いが増えてきている。(東京:問屋)
米マツ平角	価格横ばい予想だが大手メーカーが値上げするかも?(東海:問屋)
北洋アカマツ タルキ	品薄状態。価格上昇。(東海:問屋) 状況変わらず。価格は下がる要因が無い。(東京:仲買) 一部サイズに入荷切れ。価格も少し値上げ要求されている。(東京:仲買) 特にA品に品薄感があるが価格はそれ程でもない。(東京:仲買) 入荷不足。(大阪:仲買)
WW・RW 集成材	欧州材は強い、もしくは値上げ。スギKD柱不足も影響あり。(東京:問屋) 久しぶりに、RWは落ち着いた値動き。(東京:問屋) WWも品物少なく上昇は確実の様子。(東京:仲買) 先物ほぼ横ばい。国産材やや上昇、10.5角 1,800~1,830円/本。荷動き順調、価格とりあえず横ばい予想。(東海:問屋)
合板	針葉樹品薄、納期が長くなっている。特に12mm3×6判は価格800~830円。まだ続きそう。(東海:問屋) 針葉樹は急上昇。品物少なく欠品も出ている。特に厚物長尺が深刻な様子。(東京:仲買) 川上は確実に強いが需要はそれ程ではなく反応が鈍い。先々かなりの品薄との情報がある。(東京:仲買) 相場はジリジリ上がってきている。資材は普通に推移。(東京:仲買) 針葉樹合板値上がり、共に品不足になっている。3月の仕事の手当てに大変。(大阪:仲買)